

総合情報学研究科

研究指導概要

博士前期課程

指導内容とスケジュール

1. 各セメスタの指導内容

1 セメスタ

- ・修士論文のテーマを決め、それを複数の補題に分け、それぞれを証明するための研究計画を立案する。
- ・日本語論文を執筆し、新規性や有用性を意識して論旨を明確にまとめること、所定の書式に沿って清書すること等を訓練する。
- ・論文題目にあわせ、基礎科目・専門科目を履修指導する。
- ・学期末に要旨（英文2ページとその原文）を提出し、中間発表を行う。

2 セメスタ

- ・研究計画に沿って実験を計画・実施し、修士論文としての提案内容を作成する。
- ・国内学会等において研究発表を行い、プレゼンテーション能力及び質疑応答の訓練をする。
- ・自らの問題意識に基づいて研究関連分野の最近の研究活動の状況等のレビュー作成を指導する。
- ・到達目標を踏まえた達成状況に応じて、研究計画の確認や見直しを行う。
- ・学期末に要旨（英文4ページとその原文）を提出し、中間発表を行う。

3 セメスタ

- ・作成した修士論文の提案内容の有用性を実験を通じて証明し、その成果を国際学会等にて発表する。
- ・英語論文を執筆し、各分野固有の専門用語や英語表現に習熟する。
- ・確定した研究テーマに基づいて調査、実験を行い、研究方法の妥当性を検証しつつ、研究成果のとりまとめを行う。
- ・学期末に要旨（英文6ページとその原文）を提出し、中間発表を行う。

4 セメスタ

- ・国際学会等で発表した研究成果を元に、修士論文を完成させる。
- ・英語による論文発表ないし口頭発表を、学術的価値を広く一般に認知された場で行う。
- ・英語論文による発表を行う。
- ・修士論文の骨子について、検討する。
- ・研究精度を高め、修士学位論文にまとめる。

2. 論文報告会（論文発表会）等の概要と発表の要件等

毎学期の中間発表会に論文要旨をまとめて報告をしなければならない。日時、場所等は後日周知する。

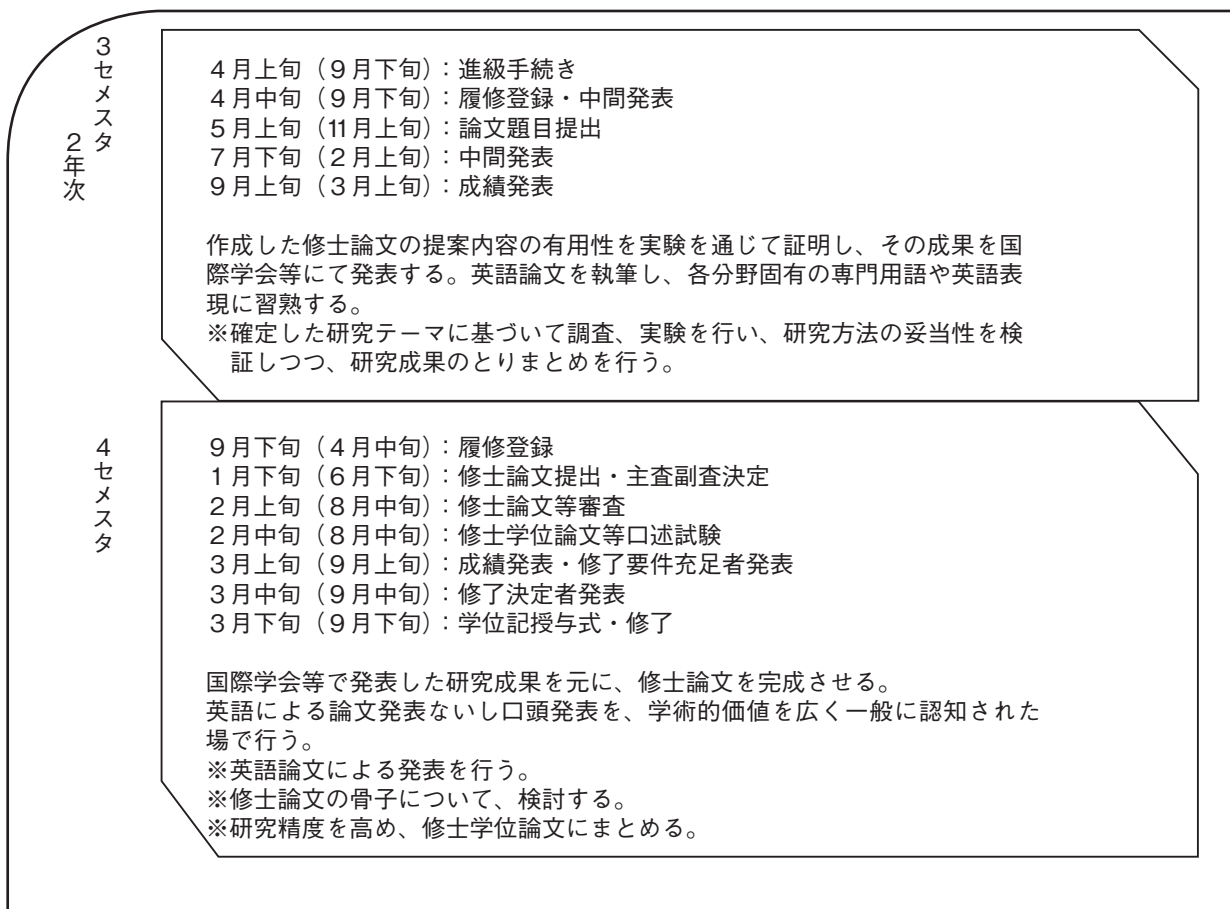
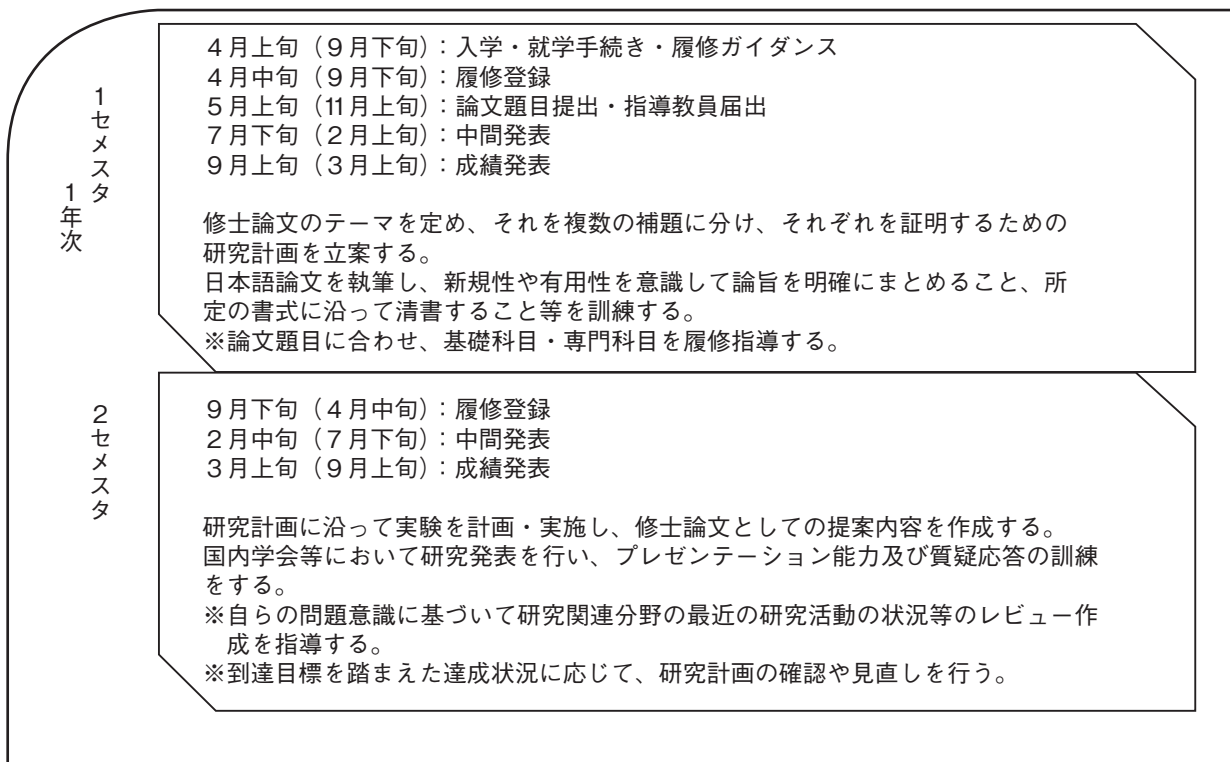
報告は1人10分（質疑応答を含む）とし、各自レジュメ50部用意し、当日持参すること。

修士課程在籍者は、学年等の如何を問わず報告を聞くことが可能なので、積極的に参加することが望ましい。

中間発表会では、和文・英文両研究概要の提出を課し、その内容が一致することや、研究の進捗状況を、全教員の参加する場で、多角的な視点で確認する。これら研究概要は特別研究の進行に応じて、1セメスタ目：2枚、2セメスタ目：4枚、3セメスタ目：6枚、4セメスタ目：6枚とし、情報系学会でスタンダードとなりつつある6枚を仕上げて学外での発表につなげる。

フローチャート

学位取得に向けたモデルケース（秋入学者はセメスタ単位で流れを参照のこと）



博士後期課程

指導内容とスケジュール

1. 各セメスタの指導内容

①1セメスタ

- ・論文題目に合わせ、実験装置の操作技術を修得する。
- ・研究計画を立案し、調査、実験等の研究方法を確認する。

②2セメスタ

- ・国際学会での論文投稿や学会発表を視野に、研究に関連する英語のレビュー作成の指導を受ける。
- ・研究テーマに関連した英語によるプレゼンテーションと討論を経験し、英語のプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を養う。

③3セメスタ

- ・確定した研究テーマに基づいて調査、実験を行う。
- ・研究方法の妥当性を検証し、研究成果のとりまとめと評価を行う。

④4セメスタ

- ・自らの問題意識に基づいて研究関連分野の最近の研究活動の状況等のレビュー作成指導を受ける。
- ・研究精度を高め、博士論文に活かすため、国内外の学会発表等に積極的に取り組めるよう指導を受ける。

⑤5セメスタ

- ・国内外での論文投稿、学会発表を通じて、研究の精度や内容の充実を図る。

⑥6セメスタ

- ・掲載論文数を確認し、博士論文の骨子を検討する。
- ・研究精度を高め、博士学位論文にまとめる。

2. 論文報告会（論文発表会）等の概要と発表の要件等

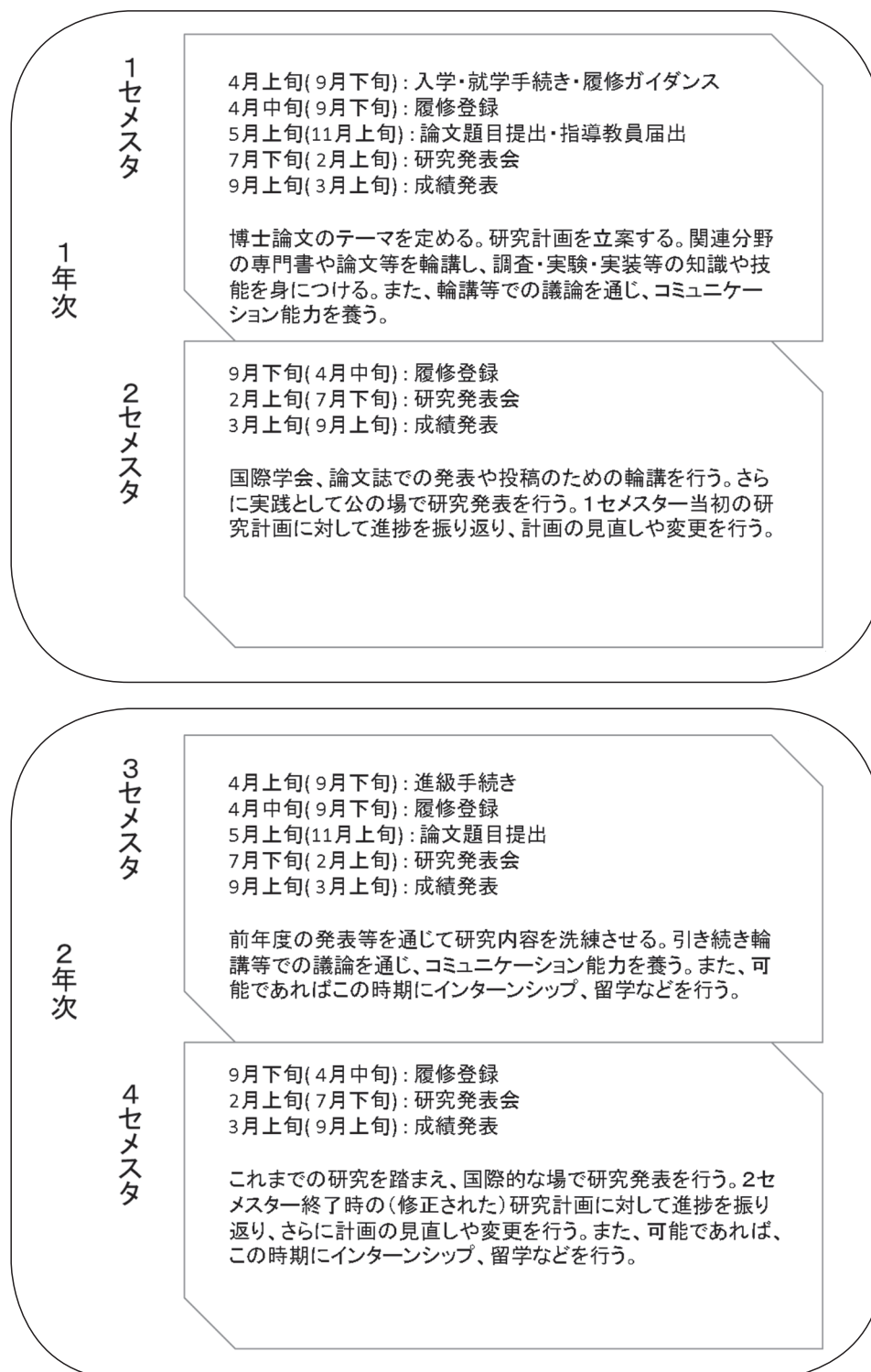
博士学位論文公聴会は、博士学位論文審査の過程で博士学位論文審査委員会が公聴会の日程を設定し、公聴会は学内外へ原則公開する。ただし、特許等が関連する発表においては、「特許が関わる場合の学位論文提出について」に沿って、審査者のみならず会議及び発表会参加者とも秘密保持誓約書を取り交わすと共に、発表会は大学の主催もしくは共催とし、特許出願要件を損なわない配慮をして開催する。

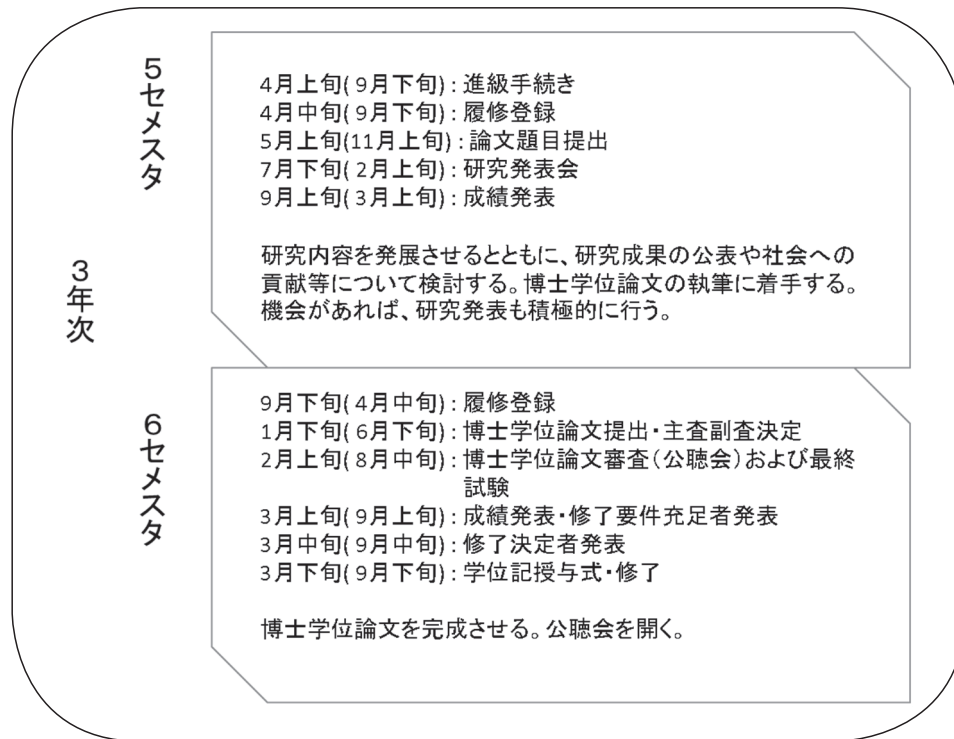
博士学位論文公聴会の日程、当日説明資料、スライド、発表時間等は、専攻毎に指示があるので、指導教授の指示に従うこと。

フローチャート

学位取得に向けたモデルケース

※時期は春入学を想定している。秋入学は（ ）内参照のこと。





※6セメスタの前半までに、査読付き論文2件（うち1件は英語）の投稿・採択と英語口頭発表1件の発表を目指す。

東洋大学大学院総合情報学研究科規程

平成29年規程第37号

平成29年4月1日

施行

改正 平成30年4月1日 平成31年4月1日 令和2年4月1日

(趣旨)

第1条 この規程は、東洋大学大学院学則（以下「学則」という。）第4条第5項に基づき、東洋大学大学院総合情報学研究科（以下「総合情報学研究科」という。）の教育研究に関し必要な事項を定める。

(人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的)

第2条 総合情報学研究科は、学則第4条の2に基づき、研究科及び専攻の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を別表第1のとおり定める。

(修了の認定及び学位授与、教育課程の編成及び実施並びに入学者の受入れに関する方針)

第3条 総合情報学研究科は、学則第4条の3に基づき、専攻の修了の認定及び学位授与に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針並びに入学者の受入れに関する方針を別表第2のとおり定める。

(教育課程)

第4条 総合情報学研究科は、学則第5条の2及び第7条に基づき、専攻の教育課程における科目区分、授業科目及び研究指導科目の名称、単位数、配当学年、及び履修方法等を別表第3のとおり定める。

(修了に必要な単位等)

第5条 総合情報学研究科は、学則第12条及び第13条に基づき、専攻の修了に必要な単位等を別表第4のとおり定める。

(改正)

第6条 この規程の改正は、学長が総合情報学研究科委員会の意見を聴き、研究科長会議の審議を経て行う。

附 則

- 1 この規程は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、平成28年度以前の入学生については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、平成29年度以前の入学生については、改正後の第3条及び第3条別表第2を除き、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、平成30年度以前の入学生については、改正後の第3条及び第3条別表第2並びに第4条別表第3を除き、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、2020年4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、2019年度以前の入学生については、改正後の別表第3を除き、なお従前の例による。

別表第1 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（第2条関係）

総合情報学研究科

人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的
【博士前期課程】 (1) どのような人材を養成し、どのような人材を世に送り出すか 情報を共通言語として異分野を統合する総合情報学と、最先端 ICT の高度な専門知識・技能、行動特性を常に改善することを意識させる教育指導法により、国際的に通用する高度な専門的職業人を養成することを目的とする。 (2) 学生にどのような能力を習得させるのか等の教育研究上の目的 以下の能力を習得させることを目的とする。 ①総合情報学の分野を切り開いていける能力 ②情報通信技術を様々な分野に活かせる能力 ③自律的に行動し、問題を発見すると共に、リーダーシップを発揮して解決に当たる能力 ④国際社会で相手の文化を尊重しながら共生・協業できる能力 【博士後期課程】 (1) どのような人材を養成し、どのような人材を世に送り出すか 情報化社会において多様な分野を統合する総合情報学の専門知識と最先端の情報通信技術の技能を身につけ、自立のかつ計画的に研究を遂行する能力を持ち、世界の舞台で活躍できる卓越した研究者・技術者を育成する。 (2) 学生にどのような能力を習得させるのか等の教育研究上の目的 教育研究上の習得目標は以下の通りである。 ①継続的に最先端の知識・技能を獲得し、総合情報学を発展させる能力 ②最先端の情報通信技術を諸分野に応用し、イノベーションを創造できる能力 ③情報に関わる様々な学際的分野で自立のかつ計画的に研究活動を遂行できる能力 ④国際社会で異文化を尊重しながら異分野交流を推進できる能力

総合情報学研究科総合情報学専攻

人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的
【博士前期課程】 (1) どのような人材を養成し、どのような人材を世に送り出すか 総合情報学における3つの応用分野（システム情報、メディア情報、心理・スポーツ情報）と、最先端 ICT の高度な専門知識・技能、行動特性を常に改善することを意識させる教育指導法により、豊かな人間性を兼ね備え、国際的に通用する高度な専門的職業人を養成することを目的とする。 (2) 学生にどのような能力を習得させるのか等の教育研究上の目的 以下の能力を習得させることを目的とする。 ①総合情報学の3つの分野を切り開いていける能力 ②情報通信技術を3つの分野に活かせる能力 ③自律的に行動し、3つの分野の問題を発見すると共に、リーダーシップを発揮して解決に当たる能力 ④3つの分野の成果を国際社会に還元できる能力 【博士後期課程】 (1) どのような人材を養成し、どのような人材を世に送り出すか 総合情報学における3つの応用分野（システム情報、メディア情報、心理・スポーツ情報）の専門知識と最先端の情報通信技術の技能を身につけ、自立のかつ計画的に研究を遂行する能力を持ち、世界の舞台で活躍できる卓越した研究者・技術者を育成することを目的とする。 (2) 学生にどのような能力を習得させるのか等の教育研究上の目的 教育研究上の習得目標は以下の通りである。 ①継続的に最先端の知識・技能を獲得し、総合情報学の3つの分野を発展させる能力 ②最先端の情報通信技術を諸分野に応用し、3つの分野でイノベーションを創造できる能力 ③3つの分野で自立のかつ計画的に研究活動を遂行できる能力 ④国際社会で異文化を尊重しながら3つの分野で交流を推進できる能力

別表第2 修了の認定及び学位授与、教育課程の編成及び実施並びに入学者の受入れに関する方針（第3条関係）

総合情報学研究科総合情報学専攻

1. 修了の認定及び学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）
【博士前期課程】 本専攻の人材養成に関する目的および教育研究上の目的に基づき、以下の資質や能力を身につけたうえで、所定の年限・単位数等を満たし、修士学位論文の審査及び最終試験に合格した者に対して、修士の学位を授与する。 (1) 総合情報学を高度に発展させるため、「システム情報分野」「メディア情報分野」「心理・スポーツ情報分野」のいずれかにおいて高度かつ学際的な専門的知識を身につけている。 (2) 最先端 ICT を習得するとともに、それらを使い社会で実践的に行動できる能力を身につけている。 (3) 研究の推進能力、研究成果の論理的説明能力を有し、研究の学術的意義、新規性、創造性、応用的価値を有している論文を執筆する能力を身につけている。 (4) 専門領域において、英語論文の執筆や発表を行うことができる、実践的な英語力を身につけている。 【博士後期課程】 本専攻の人材養成に関する目的および教育研究上の目的に基づき、以下の資質や能力を身につけたうえで、所定の年限・単位数等を満たし、博士学位論文の審査及び最終試験に合格した者に対して、博士の学位を授与する。 (1) 総合情報学の発展に向けて、応用分野の最先端の専門知識と技能を継続して獲得する能力を身につけている。 (2) 情報通信技術に関する最先端の専門知識と技能を身につけている。 (3) 情報に関わる学際的な様々な分野で自立した研究活動を行うための研究遂行能力を身につけている。 (4) 国際的に活躍できるコミュニケーション能力を身につけている。
2. 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）
【博士前期課程】 (1) 教育課程の編成 / 教育内容・方法 ディプロマ・ポリシーの達成のために、「授業科目（コースワーク）」と「研究指導（リサーチワーク）」を適切に組み合わせた教育課程を体系的に編成する。 授業科目は、専門分野と共通分野に分類する。専門分野においては、総合情報学を発展させる3つの専門分野「システム情報分野」「メディア情報分野」「心理・スポーツ情報分野」からなる科目群を配列する。共通分野においては、関連分野とのより緊密な統合を図るための、高い情報処理能力と最先端 ICT を習得するための科目と、それらを使い社会で実践的に行動できるための科目を配列する。情報が今後の地球社会に持つ意味を掘り下げ、情報の観点から学問分野の統合と現代社会に対する新たな視点の開発につながるように学際的に各科目を教授する。 研究指導は、高い研究能力とともに、国際的に活躍できるグローバル人材を育成するために、英語論文の執筆や発表の指導を行い、実践的な英語力を伸長させるよう指導する。 (2) 学修成果の評価 学修成果については、客観性及び厳格性を確保しつつ、以下の要素・方法により評価する。 ①授業科目については、あらかじめ示す成績評価基準に沿って、各授業科目のシラバスに記載されている方法により、授業担当教員が評価する。 ②研究指導については、研究過程における達成度を、あらかじめ示す研究指導計画をもとに、論文報告会等を通じて、研究指導教員および本専攻所属教員により組織的に評価する。 ③学位請求論文については、あらかじめ示す論文審査基準、審査体制に基づき、評価を行う。 【博士後期課程】 (1) 教育課程の編成 / 教育内容・方法 ディプロマ・ポリシーの達成のために、「授業科目（コースワーク）」と「研究指導（リサーチワーク）」を適切に組み合わせた教育課程を体系的に編成する。 授業科目は、専門分野に分類する。専門分野においては、総合情報学を発展させる3つの専門分野「システム情報分野」「メディア情報分野」「心理・スポーツ情報分野」からなる科目群を配列する。これら科目では、①応用分野の最先端の専門知識と技能を継続して獲得する能力を身につけるように指導する。②その問題解決のプロセスを通じて実践的に最先端の情報通信技術の知識と技能を修得するように指導する。③研究者としての自立を促し、計画的に研究を遂行できるように指導する。④学際的テーマの場合、専門分野の異なる複数の教員で学際的な研究指導を行う。研究指導は、高い研究能力とともに、国際的に活躍できる研究者を育成するために、英語論文の執筆や発表の指導を行い、実践的な英語力を伸長させる指導する。 (2) 学修成果の評価 学修成果については、客観性及び厳格性を確保しつつ、以下の要素・方法により評価する。 ①授業科目については、あらかじめ示す成績評価基準に沿って、各授業科目のシラバスに記載されている方法により、授業担当教員が評価する。 ②研究指導については、研究過程における達成度を、あらかじめ示す研究指導計画をもとに、論文報告会等を通じて、研究指導教員および本専攻所属教員により組織的に評価する。 ③学位請求論文については、あらかじめ示す論文審査基準、審査体制に基づき、評価を行う。

3. 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

【博士前期課程】

入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。

- (1) 専門知識を実際の問題に適用する過程を通じて人間的に成長するとともに、以って総合情報学の確立に貢献する意欲のある者
- (2) 自らの研究分野を説明できる英語能力及び情報処理技術を応用する能力のある者
- (3) 総合情報学に関わる複数の専門分野の知識のある者

【博士後期課程】

入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。

- (1) 総合情報学の発展に寄与したいという意欲のある者
- (2) 必要に応じてプログラムが書ける情報処理能力、英語で論文を執筆する能力及び研究を遂行する能力のある者
- (3) 総合情報学のテーマに関わる社会背景や関連分野の広い知識のある者

別表第3 教育課程（第4条関係）

省略する。

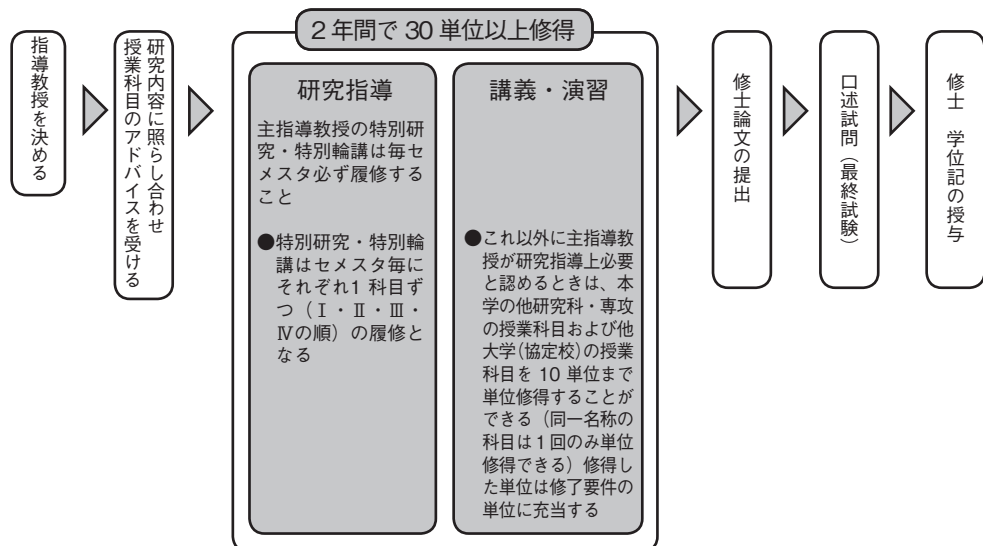
別表第4 修了に必要な単位等（第5条関係）

省略する。

総合情報学専攻

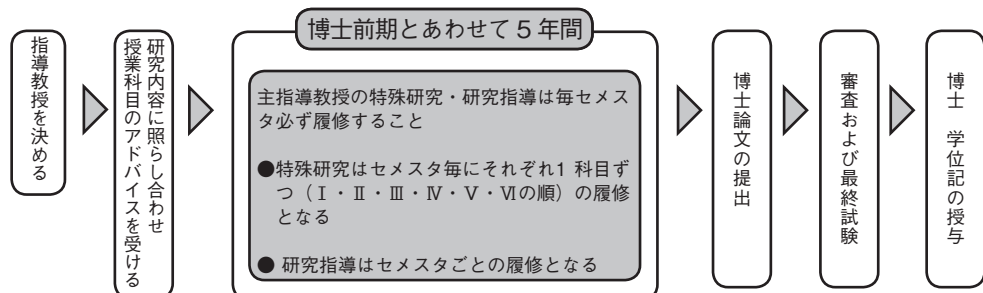
前期課程

履修の流れ



後期課程

履修の流れ



※本専攻では、自身の研究を一層深めるために、研究指導の一環として、海外における調査・研究や学会への参加・発表を奨励しています。

総合情報学専攻 (Course of Information Sciences and Arts)

修士課程 (Master's Program)

授業科目・研究指導 Title	講義・演習の別 Lecture or Research	単位 Unit	科目ナンバリング Numbering Code	職 名 Job Titles at University	担当教員 Academic Staff	備 考 Notes
◇システム情報分野 ◇ System Informatics Field						
IT ビジネスマネジメント IT Business Management	講義 Lecture	2	MAN602	教 授 Professor	島 田 裕 次 Yuji Shimada	
ソーシャルマーケティング特論 Advanced Lecture on Social Marketing	講義 Lecture	2	CME603	教 授 Professor	大 塚 佳 臣 Yoshiomi Ohtsuka	
環境情報デザイン特論 Advanced Lecture on Environmental Information Design	講義 Lecture	2	DEV604			本年度休講(隔年開講) No class in 2020
ソフトウェア工学特論 Advanced Lecture on Software Engineering	講義 Lecture	2	SOF605			本年度休講(隔年開講) No class in 2020
アルゴリズム特論 Advanced Lecture on Algorithms	講義 Lecture	2	THI624			本年度休講(隔年開講) No class in 2020
クラウドコンピューティング Cloud Computing	講義 Lecture	2	SOF607	教 授 Professor	上 原 稔 Minoru Uehara	
◇メディア情報分野 ◇ Media Informatics Field						
メディア情報学特論 Advanced Lecture on Media Informatics	講義 Lecture	2	LIH608	教 授 Professor	藤 本 貴 之 Takayuki Fujimoto	
メディア文化特論 Advanced Lecture on Media and Culture	講義 Lecture	2	SOC609	非常勤講師 Part-time Lecturer	内 木 哲 也 Tetsuya Uchiki	
マルチメディア特論 Advanced Lecture on Multimedia	講義 Lecture	2	MUD610			本年度休講(隔年開講) No class in 2020
メディアプランニング特論 Advanced Lecture on Media Planning	講義 Lecture	2	SOC611	教 授 Professor	藤 本 貴 之 Takashi Fujimoto	
C G 特論 Advanced Lecture on Computer Graphics	講義 Lecture	2	EGI612			本年度休講(隔年開講) No class in 2020
映像メディア特論 Advanced Lecture on Visual Media	講義 Lecture	2	EGI613	教 授 Professor	多 田 光 利 Terutoshi Tada	
メディアコンテンツ特論 Advanced Lecture on Media Contents	講義 Lecture	2	EGI614			本年度休講(隔年開講) No class in 2020
メディアデザイン特論 Advanced Lecture on Media Design	講義 Lecture	2	DES615	教 授 Professor	藤 本 貴 之 Takayuki Fujimoto	
ネットワークシステム特論 Advanced Lecture on Network Systems	講義 Lecture	2	HPC635			本年度休講(隔年開講) No class in 2020
◇心理・スポーツ情報分野 ◇ Psychological and Sports Informatics Field						
インタラクションデザイン Interaction Design	講義 Lecture	2	HII616	教 授 Professor	杉 本 富 利 Futoshi Sugimoto	
心理統計特論 Advanced Lecture on Statistics for Psychology	講義 Lecture	2	STS617	准 教 授 Associate Professor	喜 岡 恵 子 Keiko Kioka	
心理的アセスメントに関する理論と実践 Theory and Practice of Psychological Assessment	講義 Lecture	2	CLI618			本年度休講(隔年開講) No class in 2020
シミュレーション特論 Advanced Lecture on Simulation	講義 Lecture	2	CMS619			本年度休講(隔年開講) No class in 2020
認知心理学特論 Advanced Lecture on Cognitive Psychology	講義 Lecture	2	CGS620	教 授 Professor	杉 本 富 利 Futoshi Sugimoto	
心の健康教育に関する理論と実践 Theory and Practice for Mental Health Education	講義 Lecture	2	BEB621			本年度休講(隔年開講) No class in 2020
スポーツ人間科学 Sports and Human Sciences	講義 Lecture	2	SPS636	教 授 Professor	加 藤 千恵子 Chieko Kato	
3DCGを用いた心理・スポーツデザイン 3-D Computer Graphics for Psychology and Sports Design	講義 Lecture	2	SPS637			本年度休講(隔年開講) No class in 2020
言語情報学特論 Advanced Lecture on Language and Information Sciences	講義 Lecture	2	LIN638			本年度休講(隔年開講) No class in 2020
家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践 Support Theory and Practice for Family, Group, and Community	講義 Lecture	2	CLI640	講 師 Lecturer	青 木 滉一郎 Koichiro Aoki	
福祉分野に関する理論と支援の展開 Support Theory and Applications in Social Welfare Area	講義 Lecture	2	CLI641			本年度休講(隔年開講) No class in 2020
◇共通分野 ◇ Common Field						
プログラミング特論 Advanced Lecture on Programming	講義 Lecture	2	SOF622	教 授 Professor	上 原 稔 Minoru Uehara	
データマイニング Data Mining	講義 Lecture	2	STS623	教 授 Professor	土 田 賢 省 Kensei Tsuchida	

授業科目・研究指導 Title	講義・演習の別 Lecture or Research	単位 Unit	科目ナンバリング Numbering Code	職 名 Job Titles at University	担当教員 Academic Staff	備 考 Notes
プロジェクト演習 Exercises in Problem Based Learning	演習 Research	2	SEM625	教授 Professor	上原 稔 Minoru Uehara 原 貴英 Takayuki Fujimoto 湯舟 孝隆 Eiichi Yubune 島田 裕 Yuji Shimada 三谷 孝 Takashi Mihara 塩田 次志 Ryuji Shioya	共通
情報処理技術演習 Information Processing Technology Exercises	演習 Research	2	SEM626	教授 Professor	上原 稔 Minoru Uehara 島田 裕 Yuji Shimada 三谷 孝 Takashi Mihara	オムニバス方式
総合情報学のための英語表現法 English Expression Method for Information Sciences and Arts	講義 Lecture	2	ENG639	教授 Professor	湯舟 英一 Eiichi Yubune	
◇研究指導 ◇ Research Review						
総合情報学特別研究Ⅰ Advanced Research in Information Sciences and ArtsⅠ	演習（必修） Research (compulsory subject)	2	REG627	}		
総合情報学特別研究Ⅱ Advanced Research in Information Sciences and ArtsⅡ	演習（必修） Research (compulsory subject)	2	REG629			
総合情報学特別研究Ⅲ Advanced Research in Information Sciences and ArtsⅢ	演習 Research	2	REG631			
総合情報学特別研究Ⅳ Advanced Research in Information Sciences and ArtsⅣ	演習 Research	2	REG633			
総合情報学特別輪講Ⅰ Advanced Seminars in Information Sciences and ArtsⅠ	演習（必修） Research (compulsory subject)	2	REG628	}		（各指導教員） 上原、加藤、小瀬、塩谷、島田、 杉本、田村、土田、中林、藤本、 三原、湯舟、大塚、村上 （Supervisors） Uehara,Kato,Kose,Shioya,Shimada, Sugimoto,Tamura,Tsuchida, Nakabayashi,Fujimoto.Mihara, Yubune,Ohtsuka,Murakami
総合情報学特別輪講Ⅱ Advanced Seminars in Information Sciences and ArtsⅡ	演習（必修） Research (compulsory subject)	2	REG630			
総合情報学特別輪講Ⅲ Advanced Seminars in Information Sciences and ArtsⅢ	演習 Research	2	REG632			
総合情報学特別輪講Ⅳ Advanced Seminars in Information Sciences and ArtsⅣ	演習 Research	2	REG634			

博士後期課程 (Doctoral Program)

授業科目・研究指導 Title	講義・演習の別 Lecture or Research	単位 Unit	科目ナンバリング Numbering Code	担当教員 Academic Staff
◇研究指導 ◇ Research Review				
◇システム情報分野 ◇ System Informatics Field				
システム情報特殊研究Ⅰ Advanced System Informatics ResearchⅠ	講義 Lecture		REG701	(各指導教員) 上原、土田、三原、大塚 (Supervisors) Uehara,Tsuchida,Mihara,Ohtsuka
システム情報特殊研究Ⅱ Advanced System Informatics ResearchⅡ	講義 Lecture		REG702	
システム情報特殊研究Ⅲ Advanced System Informatics ResearchⅢ	講義 Lecture		REG703	
システム情報特殊研究Ⅳ Advanced System Informatics ResearchⅣ	講義 Lecture		REG704	
システム情報特殊研究Ⅴ Advanced System Informatics ResearchⅤ	講義 Lecture		REG705	
システム情報特殊研究Ⅵ Advanced System Informatics ResearchⅥ	講義 Lecture		REG706	
◇メディア情報分野 ◇ Media Informatics Field				
メディア情報特殊研究Ⅰ Advanced Media Informatics ResearchⅠ	講義 Lecture		REG707	(各指導教員) 塩谷、田村、中林、藤本 (Supervisors) Shioya,Tamura,Nakabayashi,Fujimoto
メディア情報特殊研究Ⅱ Advanced Media Informatics ResearchⅡ	講義 Lecture		REG708	
メディア情報特殊研究Ⅲ Advanced Media Informatics ResearchⅢ	講義 Lecture		REG709	
メディア情報特殊研究Ⅳ Advanced Media Informatics ResearchⅣ	講義 Lecture		REG710	
メディア情報特殊研究Ⅴ Advanced Media Informatics ResearchⅤ	講義 Lecture		REG711	
メディア情報特殊研究Ⅵ Advanced Media Informatics ResearchⅥ	講義 Lecture		REG712	